

## 「<sup>ひんこん</sup>貧困からの<sup>だっきやく</sup>脱却」 1

### <sup>にい</sup>お兄ちゃんがしゃべったよ！－<sup>しょうねん</sup>シエラレオネの少年アラジ

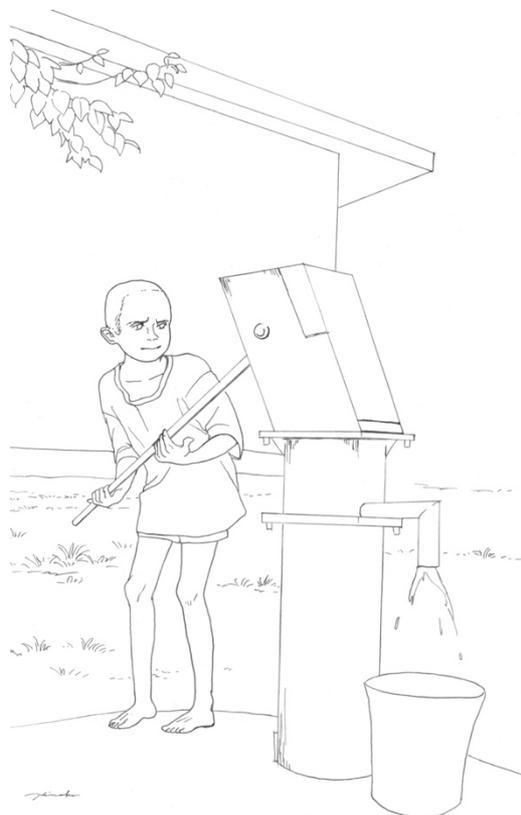
「シエラレオネ」という<sup>くに</sup>国を知っていますか。私の<sup>まわり</sup>周りの<sup>ひと</sup>人に聞いてみると、まず知らないという<sup>ひと</sup>人が多いです。アフリカ大陸の<sup>にし</sup>西の<sup>ぶぶん</sup>でっばりの部分にある、<sup>うみ</sup>海に<sup>めん</sup>面した<sup>ちい</sup>小さな<sup>くに</sup>国です。昔は<sup>むかし</sup>奴隷貿易が<sup>おこな</sup>行われていました。また<sup>ひんしつ</sup>品質の<sup>たか</sup>高いダイヤモンドがとれることでも有名です。実は、この<sup>くに</sup>国は、<sup>せ</sup>世界で<sup>もっと</sup>最も<sup>いのち</sup>命が<sup>みじか</sup>短い<sup>くに</sup>国として知られています。2020年のWHOの<sup>とうけい</sup>統計によると、<sup>にほんじん</sup>日本人の<sup>へいきんじゅみょう</sup>平均寿命が84.2歳であるの<sup>たい</sup>に対して、シエラレオネは53.1歳です。生まれた<sup>こ</sup>子どもの<sup>にん</sup>5人に<sup>ひとり</sup>一人が5歳になるまで<sup>な</sup>に亡くなります。これは<sup>りけん</sup>ダイヤモンドの<sup>あらし</sup>利権の<sup>せいび</sup>争いで、1991年から2002年までの<sup>ねん</sup>10年にわたった<sup>せいふ</sup>政府軍と<sup>はんせいふぐん</sup>反政府軍による<sup>ないせん</sup>内戦が<sup>げんいん</sup>原因で、<sup>せいび</sup>インフラが<sup>げんいん</sup>整備されていないことが<sup>い</sup>原因とされています。今も<sup>こくみん</sup>国民の<sup>わり</sup>7割が<sup>ひんこんじょうたい</sup>貧困状態にあり、<sup>あんぜん</sup>安全な<sup>みず</sup>水・<sup>とどの</sup>トイレすら<sup>ととの</sup>整っていません。

そんなシエラレオネに、<sup>さい</sup>8歳の<sup>おとこ</sup>アラジという<sup>こ</sup>男の子がいます。アラジは<sup>さい</sup>11歳の<sup>にい</sup>お兄さんサヨンと<sup>さい</sup>6歳の<sup>おとうと</sup>弟、そして、<sup>あし</sup>足の<sup>わる</sup>悪い<sup>おばあさん</sup>おばあさんと<sup>す</sup>住んでいます。アラジは<sup>さい</sup>5歳の<sup>りょうしん</sup>ときに<sup>はんせいふぐん</sup>両親を<sup>め</sup>反政府軍に<sup>まへ</sup>目の前で<sup>ころ</sup>殺されました。父は<sup>ちち</sup>銃殺され、その<sup>かえ</sup>返り<sup>ち</sup>血を<sup>あ</sup>浴びた<sup>むすこ</sup>息子たちは、<sup>じぶん</sup>自分が<sup>う</sup>撃たれたと<sup>おも</sup>思っ「撃たれた！」と<sup>さげ</sup>叫びました。母は「大丈夫、あなた<sup>たち</sup>達は<sup>う</sup>撃たれていない。これは<sup>おとうさん</sup>お父さんの<sup>ち</sup>血よ。」と言って<sup>むすこ</sup>息子たちを<sup>おち</sup>落ち着かせようとしたそうです。その<sup>はは</sup>母も<sup>くび</sup>首を<sup>き</sup>切られて<sup>な</sup>亡くなりました。お兄さんのサヨンは、<sup>もり</sup>森の中を<sup>なか</sup>1カ月<sup>げつひとり</sup>一人で<sup>に</sup>逃げ<sup>つづ</sup>続け、<sup>こゑ</sup>声を出して<sup>み</sup>見つかれば<sup>ころ</sup>殺されるという<sup>きょうふ</sup>恐怖から、<sup>くち</sup>口が<sup>きけ</sup>きけなくなってしまいました。内戦<sup>ないせん</sup>当時、<sup>おきな</sup>幼かった<sup>おとうと</sup>弟たちと<sup>ちが</sup>違い、<sup>ものごころ</sup>物心が<sup>こころ</sup>ついて<sup>い</sup>いたサヨンは、<sup>ふか</sup>心に<sup>きず</sup>深い<sup>お</sup>傷を負い、<sup>せいしん</sup>精神が<sup>ふ</sup>不安定な<sup>ま</sup>ままです。

<sup>かぞく</sup>家族を支えるのは<sup>さい</sup>8歳の<sup>まいにち</sup>アラジです。毎日、毎日、<sup>まいにち</sup>ダイヤモンド<sup>こうざん</sup>鉱山に行っては<sup>て</sup>手で<sup>どろ</sup>泥をかきだし、<sup>こし</sup>腰をかがめて、<sup>どろ</sup>泥だらけになって<sup>さが</sup>ダイヤモンドを探しています。



これは大変な重労働ですが、サヨンはその横で遊んでいるだけで戦力にはなりません。おばあさんは、なんとか一粒でもダイヤモンドが見つかりますように、と毎日祈りますが、その鉱山は大人たちが掘りつくした後なので、簡単に見つかるはずがありません。ダイヤモンドが見つからず、食料が買えないアラジたちは水をくみにいきました。



水をくむ場所は小学校の近くにありますが、両親がいる家庭の子は小学校に通えます。アラジは本当は勉強して、お金を稼げるようになって、お兄ちゃんを聾学校にいれたいと思っています。そして苦労して自分たちを育ててくれているおばあさんに楽をさせてあげたいと思っています。お兄ちゃんにアラジは話しかけます。

「1+1は何？サヨン、話してよ、サヨン」

サヨンは遠くを見るばかりです。その夜は、兄弟たちはそのくんできた水を分け合って飲んで寝るしかありませんでした。

しかし、次の日もダイヤモンドは見つかりませんでした。アラジたちはもう2日間も何も食べていませんでした。そこで、夕方にアラジは、サヨンと弟をつれて山へ行くことにしました。わずかな鉄くずを拾い、落ちていた木の枝を束ねて藪をつくりました。



アラジはサヨンに木の枝の集め方を教えます。昔は色々教えてくれたお兄さんですが、今はアラジが教えなければなりません。急に泣き出すサヨンに、アラジはまた一生懸命話しかけます。

「サヨン泣かないで。何か言ってよ、サヨン」

なんとか今日は鉄くずと蒔を売り、そのお金で、豆を買うことができました。その豆を使って、おばあさんはできるだけ量が増えるように水を足して料理してくれました。そうして、兄弟はやっどご飯を食べることができました。

アラジはまたサヨンに話しかけます。

「サヨン、お母さんはどこ？ねえ、お母さんはどこ？」

いつもと違い、サヨンが何か言いたそうにしています。手を首の前にあて、首を切るジェスチャーをしました。

「しーんだ」

もういちど、手を首の前で横に引き「しーんだ」と、のどの奥から声を発しました。アラジは喜び、大きな声で叫びました。

「お兄ちゃんがしゃべったよ！しんだって言ったんだ！！」

(1628字)

(2020.12 Written by Yukiko OKUNO)

(All pictures are drawn by Hinako Fujimura)

<参考資料>

- ・「MEMORVA」ウェブサイト「世界の平均寿命ランキング」(2021.1.28確認)  
[https://memorva.jp/ranking/unfpa/who\\_whs\\_life\\_expectancy.php](https://memorva.jp/ranking/unfpa/who_whs_life_expectancy.php)
- ・フジテレビ『世界がもし100人の村だったら ディレクターズ エディション【DVD】』



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示・非営利・継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.